

# モニタリング調査について(案)

- ・西表島森林生態系保護地域は全島面積の約7割を占め、原始的な天然林が分布しており、多くの固有種や希少種が生息・生育しており、学術的にも非常に価値が高い。
- ・当該生態系保護地域を適切に管理し、希少種の保護、外来種対策、オーバーユース対策等を効果的に進めていくためには、継続的なモニタリング調査を行っていく必要がある。

## 【現地調査項目】

- ・森林・植生に関する調査(毎木調査、植生調査、定点写真撮影 等)
- ・野生動物に関する調査(イリオモテヤマネコ等の希少種、固有種)
- ・外来種に関する調査(モクマオウ、ギンネム等)
- ・利用に関する調査



イタジイ群落



オキナワウラジロガシ群落



リュウキュウマツ群落  
(南風見林木遺伝資源保存林)



セマルハコガメ



イリオモテヤマネコ



イリオモテヤマネコノ糞



リュウキュウイノシシの糞